

整理番号：6－1

提言題名：双葉地区床上浸水の今後の対応について

### 【提言の要旨】

昨年の6月に床上浸水しました。引越しも検討しております。

取手市内で転居先を探してめぼしい場所がなければ、市外へ転居を模索中です。雨が降ると、必ず家族内で喧嘩や言い合いになります。床上浸水のトラウマからかナーバスになっている感じですかね。正直もううんざりです。

市として、対策を取られている事はお見受けしますが、素人目にみてもあの対策で果たして効果があるのか、税金の無駄遣いなのではと疑ってしまうほどの、愚直な施工の始末。今年の雨季も迫って来ています。たかが水害かもしれませんが、災害には変わりありません。万が一、今年もまた災害に遭うようであれば声を大にして訴える覚悟はしております。別に脅しとかではなく、行政としての責務を全うして頂きたく今回投稿した所存でございますので安心安全をお約束していただけるよう今後の対応に期待したいと思います。

(令和6年3月受付)

### 【回答の要旨】

双葉地区の浸水被害への対策として、田などの外部からの雨水の流入を防ぐことが最も重要と考えております。外部からの水の浸入が想定される箇所には、事前に土のうの積み上げや水囊を設置し、双葉地区内への外部からの水の浸入を防ぐ対応を考えております。

また、農業用排水路である勘兵エ堀からの越水を確認しておりますので、所管部署や管理者である福岡堰土地改良区との協議の結果、排水路の一部のかさ上げを実施し、既に工事は完了しております。

次に浸水が発生してしまった場合には、浸水等の被害発生状況により、国土交通省へ、大夫落排水樋管及び古八間排水樋管への排水ポンプ車の配置を要請し、排水路内の水を排除することにより、内水の排除にもつながると考えております。

緊急的な対応としては、浸水現場に可搬式ポンプを設置し、ポンプによる排水作業の実施を考えております。

久賀小通りや中央通りなど冠水発生実績をもとに、5箇所に浸水検知センサーを設置し、早期に道路冠水の発生を把握することで迅速な交通規制などの安全対策をあわせて行います。

(排水対策課 令和6年3月 回答)